

テーマ別活動方針と活動計画

※黒字…第2回意見交換会でのまとめをそのまま残した箇所 赤字…第2回意見交換会の内容を修正・再分類した箇所 青字…アンケートから抽出 緑字…第1回、まち歩きでの意見から抽出 黄色…第3回意見交換会を経た更新

テーマ	基本方針	事業計画	取り組み 時期	種類	担当	備考	
(1)健康・福祉・高齢者	① 健康づくりの拡大	• ラジオ体操の継続実施(時間変更して参加者を増やす、太極拳等の取組みへつなげる。)	短期	既存		現在実施しているラジオ体操の一覧表をつくり、周知する。	
		• 健康増進の運動等の実施 (健康体操、いきいき100歳体操、リラックス体操)認知症予防体操、ストレッチ、スポーツなど	短期	既存		既存の活動を継続実施し、周知拡大する。	
		• まちあるきの実施	中期	新規		笹原小学校区のまちあるきマップを作成する。	
		• 健康に関する講座 (近畿中央病院の健康講座の継続実施。健康・会議、認知症、医学知識など)	短期	新規		地区で医者を呼んで、健康講座を実施する。	
		• 食事会で健康に配慮した食事の提供					
		• 若い世代の健康づくりを企画					
	② 高齢者の集いの場、交流の場づくり	• ラスタホールのフィットネスの活用	短期				校区内の高齢者施設や病院等と連携し、出張講師による健康体操等の実施。(まずは知るところから)
		• 公園への健康器具の設置拡大	中期				利用者の拡大を図るための健康づくりメニューの再構成。サロン等で実施できるメニュー作り。
		• 昼食会の実施(自己負担でもよいので、集まる場を設ける)	短期				既に健康器具が設置されている公園の状況を周知するため、マップを作成する。
		• シルバー学習会	短期				福祉サロンを充実させる。自治会の協力を得て呼びかけをする。公共の場だけでなく自宅や空き家など身近な場での実施をふやす。遠くに行けない人や、障がいのある人でも参加できるサロンの実施。
		• 男性限定サロンの実施(男性のサロン等への参加促進)	短期				学習会の講師は地域住民が担い実施(ラスタホール講座のOB等)同世代の集いの場を増やす。老人会で行っている健康体操に趣味の要素を足す。(既存活動の充実)
		• ささボラの充実、活性化、PRの強化	短期				サロンという枠にこだわらず、趣味の集いの場の設置をする。地域住民に講師になってもらい実施。定例の会だけでなく、趣味の集い等自由参加できるようにきっかけの場づくりを行う。
③ 高齢者・要支援者の支援、見守り、助け合いのしくみづくり	• 伊丹市救急情報安心キットの拡大	短期			民生委員、自治会、市	チラシを貼ってもらえるよう声をかける。	
	• 行政、社協、自治会、民生委員の協力体制の確立、情報共有	短期				犬の散歩の時などに地域を見守る。ワッペンを作成、腕章の作成。	
	• 要支援者への支援体制づくり (高齢者の買い物代行等、支援に応じてポイント付与・換金するなど)					広報紙だけでなく、広くわかりやすく周知を行う。会議や回覧などを活用する。福祉部門と連携も必要。	
	• 要支援者の個人情報の問題を解決(同意をとろうにも、家から出ない人がいる。→隣近所での助け合いをするしかない。)	短期				ゴミ当番をコミュニケーションのきっかけとして活用、チラシや役員会等で呼びかけ啓発する。自分からの声かけをする。まずはあいさつ運動の励行。	
	• 防災に関する出前講座の活用(隣近所の協力関係づくり)	短期	既存	コミ篋、自治会		既存の活動の継続	
	• AEDの設置場所等を含めた災害時の校区マップの作成	短期～中期	新規	総務部(or新部会)、自治会、市		各自治会でマップを作成し、それを、コミ篋がまとめる。危険箇所等を確認し、マップに落とし込む。企業やマンションも巻き込んでいく。災害時要援護者等について自治会長が把握できるよう、福祉的視点を含めたマップも作成する。	
(2)防災	① 緊急時、災害時に備えた備品や情報の整備	• 各センターへのAEDの設置、AED訓練、講習会の実施	短期	既存	市、総務部(or新部会)	各センター等へのAEDの設置については検討する。設置場所を外にするなど、設置方法についても検討する。毎年防災訓練で実施しているAED訓練、講習会を継続実施する。	
		• 伊丹市救急情報安心キットの拡大			民生委員、自治会、市	広報紙だけでなく、広くわかりやすく周知を行う。会議などを活用し、福祉部門と連携する。	
		• 避難訓練、自治会単位の小規模訓練の実施(向こう三軒両隣での協力、把握)	短期	新規	総務部(or新部会)、自治会	市の出前講座などを活用して各自治会の防災訓練等の取組みを広めていく。市の訓練(市内で全域で防災訓練)日程にあわせるなど、強化月間を設けることも意識を高める一つの方法。	
	② 防災訓練の実施						

向こう三軒両隣の充実、世代間で連携して実施、既存活動に関しては情報を集約し、周知を工夫する。

「まず自分の命は自分で守る」ということを広めることが大切。顔見知りや向こう三軒両隣のつながりを強化し地域でのそなえを整える。

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 笹原公園での防災訓練の実施 	短期	新規	総務部 (or 新部会)	小学校と笹原公園で隔年で実施(笹原公園では平成28年秋に実施予定、以前に1度だけ実施)する。防災公園であることを周知。
	③ 緊急時に備えた体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティ笹原協議会での防災体制づくり(災害本部、避難本部、担当者等を決定。店舗等への協力依頼。) ※地域自治の強化・広報・財源・人材・組織にも掲載 ・ 市との協力体制強化(防災マップ等の市の防災情報の周知拡大、市の有線の活用)、尼崎市と連携した避難計画づくり 	短期～中期	新規	コミ笹	防災部の設立を検討する。いざというときに備えて研修等を受ける。
(3) 地域環境・美化・緑化	① 清掃活動の発展	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既存の清掃活動の継続実施(年1回の市内一斉清掃、各自治会の児童遊園地の清掃等) 	短期	既存	生活環境部	市内一斉清掃では、市、各自治会などと連携して校区内の一斉清掃を7月の第2週に実施している。各自治会は児童遊園地の清掃等を実施している。
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 各自治会の清掃活動において、子どもや子育て世代の参加促進(学校と連携した周知、子どもが楽しめる清掃活動の実施) 	短期	既存	自治会	子ども会と連携して清掃を実施している自治会があり、他の自治会でも拡大実施する。また、子ども会が無い地域等についても自治会ごとに子どもや保護者に声かけを行う。
		<ul style="list-style-type: none"> ・ ゲーム形式での多世代参加の清掃活動(自治会で重さを競う、可燃ごみを活用した焼き芋祭り、花の寄せ植え、野菜づくりなど) 	短期	新規	生活環境部	子どもが楽しめる清掃活動の実施に向け、定期的に意見交換の場を設ける。(焼き芋や、笹原公園での自治会ごとの花壇づくりなどの楽しい取り組みと清掃をセットにするなど。)
	② ポイ捨ての防止	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯カメラ設置によるポイ捨ての抑止(防犯担当部会との連携、相談) 	短期	新規	生活環境部	設置が決定している校区内50台の防犯カメラの設置場所を決める際に、不法投棄や環境悪化の防止も視野に入れて設置できるよう、担当部と連携する。
	③ ゴミの分別・減量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既存のゴミ分別、減量活動の継続(廃品回収等) 	短期	既存	自治会、子ども会	既存の活動を継続実施する。
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者のゴミ出し負担の軽減 	短期	新規	自治会 笹ボラ	自治会ごとに班や組単位で声かけや支えあいを行う。また、笹ボラの活用を呼びかける(周知拡大)。
		<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴミのたい肥化、たい肥ボックスの設置 	長期	新規		今すぐに活動を実施するのは難しい。時間をかけて検討する。
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 不用品の交換などリサイクル、フリーマーケットなど 	長期	新規		今すぐに活動を実施するのは難しい。時間をかけて検討する。
	④ 美化意識向上に向けた教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既存の講習会、研修会、環境学習の継続 	短期	既存	生活環境部、自治会、笹原公園運営委員会	「ゴミの減量・分別講習」や、「千僧浄水場・豊中伊丹スリーR・センター見学」「環境体験学習」などの既存の活動を継続実施する。
	⑤ 自然や生き物との共存	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既存の緑化活動の継続(コミュニティ花壇の手入れ) 	短期	既存	自治会、PTA、老人会等	既存事業の継続実施
<ul style="list-style-type: none"> ・ 笹原公園での「街中花いっぱい運動」の周知 		短期	既存	笹原公園運営委員会	笹原公園で育てている花の苗を、自治会、子ども会、学校、保育所等の団体に無料配布している。	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 街路樹の整備 		短期	新規	生活環境部	団体向けに周知を強化。	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 笹原公園での「バタフライガーデン」活動の拡大実施 		中期	既存の拡大	笹原公園運営委員会 生活環境部	校区内で活用できる空き地や管理する人(団体)を探す。	
		長期		笹原公園運営委員会 生活環境部	笹原公園で実施しているバタフライガーデン活動を、校区内の空き地等を活用して、まちなかに拡大させる。	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域猫活動(猫のボランティア)、糞の始末の見廻りなど 		長期	新規	生活環境部	他地域(伊丹小学校区など)の活動の視察等を通じ、活動についての理解を深める。	
⑥ マンション問題への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ マンションの高さ制限についての条例化の検討 	長期	新規		今すぐに活動を実施するのは難しい。時間をかけて検討する。	
(4) 防犯・	① 子どもの安全確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下校時のパトロール(ウォーキング、犬の散歩時等に、「パトロール中」という腕章やジャンパー、犬のリード等をつける。通 	短期	新規	ボランティア、	パトロールの際に着用する腕章・ジャンパー等を

交通安全		学時間帯の散歩を呼びかける。)			PTA、新部会	作成し、推進する。
		• 警察との連携(取り締まり、パトロールの協力依頼)	短期～長期	既存	新部会	コミ笹から警察への協力依頼を行う。
		• 子どもでもできる護身術の講習実施	短期～長期	既存の拡大	学校、新部会、警察	現状、毎年小学校3年生が「CAP(キャップ)」という声だし等の講習を受けている。3年生だけではなく、高学年になっても講習を受ける機会を増やすよう、短期的にはコミ笹(新部会)で企画、中長期的には学校のカリキュラムに入れていただくよう連携する。
		• 子どもに防犯ブザーを持たせる	短期	新規	学校、新部会	まずは防犯ブザーの普及率等を確認する。その後、普及率に応じて対応を検討していく。
		• 市の防犯カメラの位置情報通知サービスを活用した見守りの推進	短期～中期	新規	学校、新部会、市	位置情報通知サービス(子どもや高齢者などに受信機を持たせ、どこを通ったかを把握することができる(メールが入る)サービス)の利用を啓発する。
		• 老人会、PTA、自治会等の課題共有	短期		コミ笹(新部会)	コミ笹内で実施
	② 犯罪の抑止	• 取り組みをPRして犯罪の抑止力とする(学校に立て看板を設置する等)		新規		
		• 振込詐欺をはじめとした高齢者をターゲットとした犯罪の防止に向けた、向こう三軒両隣の関係強化	短期	新規	自治会	振込詐欺対策用の市の出前講座があるため、活用する。その際、自治会よりさらに小さい単位(組・班)で出前講座を活用し交流することで、向こう三軒両隣の関係構築していく。
		• 各家庭に門灯をつけてもらう活動		新規		
		• 防犯カメラの設置場所検討	短期	既存	コミ笹	
③ 防犯、交通安全活動の体制づくり	• 防犯、交通安全活動に取り組む新たな部会の設置 ※地域自治の強化・広報・財源・人材・組織にも掲載		新規		老人会、PTA、自治会など、様々な団体の人が集まり課題を共有できる求心力のある組織をつくる。	
④ 自転車マナーの向上	• 道ばたでの自転車等への交通安全指導 • 啓発活動の実施(パトロール、スピーカーでの発信) • 学校での子ども向け自転車講習の開催	短期～中期	既存	コミ笹、PTA、学校	警察や学校に依頼して、子ども向けの自転車講習を実施(ホームルーム等の活用)。子どもから大人へ波及させる。(現在年に1回実施されている)	
	• 大人のマナーを正す、交通マナー勉強会(市や警察による出前講座)の開催					
⑤ 道路等の整備	• パトロール(危険箇所)		既存	PTA ふれあいの会	既存事業の継続実施	
	• 街灯の増設、変更(LED、明るいものに変更など)	短期～中期		コミ笹	必要箇所を調査し、市へ要望を行う。危険箇所パトロールの意見も反映させる。	
	• 水路の柵、フタの整備					
	• ミラー・ガードレールの設置、自転車レーンの設置					
	• 歩道橋の更新、通学路の整備(グリーンベルトをすべての通学路に設ける)					
(5)地域の活性化・交流 (より多くの方が自然に集まる、参加する)	① 子ども向け行事の増加	• 子どもが参加して楽しめるイベントの活性化(科学館職員の説明付の天体観測やお月見など) • 子ども会等にとらわれず、誰でも参加できる行事の開催、校区全体としての行事の開催(ハロウィンパーティー、親子セミとリ、サッカー、ソフト球技大会等) • 幼稚園入園前の子どもの対象行事の開催	中期～長期	新規	学校、幼稚園、子ども会など	関係者で協議し、できることを精査する。
	② 子どもから大人まで楽しんで参画・交流できる場や機会づくり	• 小学校でのイベントにおける連携・拡大(笹原まつりやふれあい市場に、料理・手芸・陶芸クラブ等の活動団体と連携して、作品を出展・販売してもらう など)	短期	既存	青少年部、飲食店	笹原まつりのマンネリ化、出店者の減少の解消に向け、協力者のすそ野を拡げる。センターで活動している料理・手芸・陶芸クラブ等の団体、野菜を作っている人、お店をやっている人、PTAのバザーに関わっていた人などを巻き込む。
		• パルイベントの実施(空き家で料理好きな住民が料理を提供、自治会の料理教室と連携、フリーマーケット風のパルイベントなど)	中期			出店者を含めた新しい運営体制への発展。
			短期～中期	新規	コミ笹	笹原まつりにパルの要素を入れて、お店をやっている人を巻き込む。
			長期	新規	コミ笹	笹原まつりでお店等のネットワークができてくれば、まちぐるみのパルイベントを展開する。
		• 笹原公園でのイベント開催(ドッグイベント、だんじり、バーベキュー、自治会対抗戦、盆踊り、花や樹木の研修会、三世代の学習・研修・情報交換会等) ※地域拠点にも掲載	短期	既存の拡大	笹原公園運営委員会、昆虫館	既存活動(蝶の観察会、花の観察会)の拡大。新しい人から活動を展開していく。
		• 三世代運動会の復活(各自治会対抗ではなく笹原小学校区全体の企画に。世代別の団体競技。)	長期	新規	コミ笹	今すぐに活動を実施するのは難しい。時間をかけて検討する。
		• 子どもと高齢者のふれあい、三世代のふれあい促進	短期	既存	高年部など	「幼稚園児との交流会(伝承遊びの集い)」「小学生との交流会(冬と遊ぼう、昔の話を聞く会)など既存の活動の継続実施。
	③ 自治会内の交流促進	• 自治会単位(センター間)の交流会や親睦会等の開催	長期	既存	自治会	神社秋祭りや盆踊りなどは該当自治会で継続実

						施。該当自治会を中心として、必要に応じて他の自治会との連携・協力により担い手を増やす。
	④ 歴史・伝統などの保存、継承、活用	<ul style="list-style-type: none"> 既存の地域のまつり等の継続(神社秋祭り、盆踊りなど) 	長期	既存	自治会	神社秋祭りや盆踊りなどは該当自治会で継続実施。該当自治会を中心として、必要に応じて他の自治会との連携・協力により担い手を増やす。
		<ul style="list-style-type: none"> 神社の風情を活かした企画の実施(笹原の歴史を学ぶ紙芝居など) 地域について学ぶ機会づくり(子ども向け地域ウォーク、大人向け勉強会など) 寺社や史跡、まちなみ等の地域資源のPR強化(ガイドマップ作成、案内板の整備) 地域の歴史をよく知るボランティアの確保 	長期	新規	自治会	神社や史跡などを持つ該当自治会を中心として事業の実施する方向を精査する。
	⑤ 情報発信、企画の強化	<ul style="list-style-type: none"> イベント開催に向けた気軽に話し合える企画会議の開催 	短期	新規	コミ笹	笹原まつりをきっかけとして、新たな活動してくれる人をみんなで話し合って増やすことを検討する。
		<ul style="list-style-type: none"> チラシ等による適切なタイミングでの情報発信 	短期	既存の拡大		既存の発信先ではなく、新たな発信先を開拓するなど、情報発信のあり方を検討。
(6) 子どもの健全育成	① 登校時の見守り強化	<ul style="list-style-type: none"> 学校内でのあいさつ運動強化 あいさつ運動への大人の協力(ボランティアによる家の前の見守りなど) 		既存	PTA、学校	実施中
		<ul style="list-style-type: none"> 集団登校の再開(高学年による低学年の見守り) 	短期			<ul style="list-style-type: none"> 子ども110番の協力家庭を増やす。(日常的に在宅されている家に依頼したい) 「あいさつ運動」をステッカー等を作成し、促進する。 自転車のカゴにつけるラミネートで見守り周知を拡大(地域に広く協力してもらうためには窓口が必要であり、自治会が窓口となるのでは。) 見守り活動は共通の目印となる腕章、名札を用いて、不審者と間違われぬようにする。例えばさわやか挨拶運動の腕章を活用すれば認知度もあり、費用もかからない。
	② 子どもの遊び場確保、子どもの健康促進	<ul style="list-style-type: none"> スポーツクラブ21の活用拡充、小学校の校庭開放、体育館の有効活用(スポーツクラブ21との連携)、校庭や体育館を利用しやすい環境づくり(保険整理、周知方法見直し) 	短期			<ul style="list-style-type: none"> スポーツ21の周知を強化。 広報伊丹や市議会だよりの活用、病院等への手作りポスターの掲示。地域でできることとして掲示板や回覧板の活用するなど。 保険加入について課題となっているが、現在検討中。
		<ul style="list-style-type: none"> 児童クラブの時間延長、学童保育の6年生まで引き上げ、地域の施設を自習室として活用 新幹線の高架下の遊び場活用 	長期			大学生、高校生等、スポーツが得意な人材を掘り起こし、指導者になってもらう
	③ 子育て支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> 安堂寺センターで実施されている「わくわくキッズ子育て支援」の他のセンターへの拡大 	短期～長期			<ul style="list-style-type: none"> 月6回(木曜日、第2・4月曜日)、0歳から3歳の就学前児童を対象に子育て中の親子が交流できる場を提供している。 わくわくキッズボランティアの数とスペースを確保すれば、わくわくキッズ子育て支援活動の拡大は可能。 ただし、市が類似した取り組みをしているので必要性が薄くなっている部分もある。市と各センターの取り組みを整理した上で検討。
		<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援や知恵・情報の提供・発信 	短期			<ul style="list-style-type: none"> 市と地域の取り組みを整理 地域や市で、子育て支援を行う側の研修制度があればよいのではない。
		<ul style="list-style-type: none"> 現状の子ども会活動の整理、見直し 自治会単位ではなく、学校と協力して校区単位の子ども会組織やコミュニティカレッジを立ち上げる 				
(7) 地域拠点	① コミュニティセンターの整備、充実	<ul style="list-style-type: none"> 施設内外の活用方法の整理・拡大(料金設定の見直し、料金表の設置、予約方法等の簡素化) 集まれる場や機会を増やす(3世代交流広場、学習スペースの設置、夏休みのセンター利用) 施設の情報発信強化 	中期			各センター等地域と市の取り組みを整理する
			短期			子ども会への声かけ、連携
			短期			<ul style="list-style-type: none"> 地域イベントの際に地域情報もしてもらえようとする(昨年のもちつきの際にパネル展示をしたのがよかった)
	② 笹原公園の活用	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練の実施 ※防災にも掲載 イベント開催(ドッグイベント、だんじり、バーベキュー、自治会対抗戦、盆踊り、花や樹木の研修会、三世代の学習・研修) 				笹原公園でのさくら祭りの開催

		情報交換会など) ※地域の活性化・交流にも掲載				
	③ 空き家の活用	福祉の拠点づくり				
(8)地域自治の強化・広報・財源・人材・組織	① 情報発信強化	自治会案内、加入促進の冊子(プリント)の作成、配布				
		掲示板の増設、場所の周知				
	② 小学校全体でボランティアを増やす(活用、整理)	SNS 専属の人材の確保				
		各地域の人材の掘り起こし(特技や資格保持者等に関わってもらえる組織づくり)	長期			①隠れた資格保持者を地域で登録して活用する。 ②協力していただける気持ちのある人が登録して活用。
		校区全体のボランティア整理(どこにどのようなサポートが必要なかを整理する等)	短期		コミ笹	この指とまれ方式を具体的に実行する。みんなが参加することから新たな展開をつくる。(動員では自治会の負担が大きく、長続きしない。) 課題:やりたい人だけがやってしまうことになるのでどうするか?誰かが勝手にやっている感がないように。
この指とまれ方式の事業運営(事業の運営は、役員が企画するのではなく、やりたい人が企画して呼びかける方法にすると、苦にならない。)						
	行事等の担い手確保				企画の段階から若い世代の人に入ってもらうよう、子ども会に声かけする。 1つの自治会でできない行事は近隣の自治会で協力し合って実施できるような体制の整備。 既存行事で関わってくれる人に運営側に入ってもらう	
③ 組織体制の見直し		防犯活動に取り組む新たな部会の設置 ※防犯・交通安全にも掲載			コミ笹	老人会、PTA、自治会など、様々な団体の人が集まり課題を共有できる求心力のある組織をつくる。
		コミュニティ笹原協議会での防災体制づくり(災害本部、避難本部、担当者等を決定。店舗等への協力依頼。) ※防災にも掲載	短期～中期		コミ笹	防災部の設立を検討「自分の命は自分で守る」ということを広める。いざというときに備えて研修等を受ける。